

報道関係者各位

2026 年 1 月 14 日
株式会社ネクスウィル

実家じまいの新潮流！

“ワンストップ実家じまい”で手間なく早く確実に実家じまい テレビ東京「WBS」にて当社サービス「ワケガイ」が紹介

実家じまいなど相続に伴う不動産課題を“ワンストップで対応”する訳あり不動産買取事業「ワケガイ」を展開する株式会社ネクスウィル（本社：東京都港区新橋 代表取締役：丸岡 智幸）は、実家じまいの最新トレンドと合わせて従来の実家じまいの課題を解決する新発想“ワンストップ実家じまい”について、本日、報道関係者向けに発表会を開催しました。

発表会の内容や実際に実家じまいをされた方の声をご取材いただき、2026 年 1 月 14 日（水）放送の「WBS（ワールドビジネスサテライト）」にて放送されました。



放送概要

- 番組名：WBS（ワールドビジネスサテライト）
- 放送日時：2026 年 1 月 14 日（水）22 時より放映
- 番組 URL：<https://www.tv-tokyo.co.jp/wbs/>
- 放送内容：
年末年始の帰省を機に相談が急増する「実家じまい」。不動産会社ネクスウィルが今年

のトレンドを発表するが、近年の潮流を追う。

“ワンストップ実家じまい”とは

従来の実家じまいは、手続きの複雑さや権利関係の整理、買い手探しなど多くの課題があり、相続人にとって大きな負担でした。特に、何から始めればよいか分からない、書類手続きが煩雑、共有者との調整が困難、訳あり物件は買い手が見つからない、といった問題が存在していました。

当社では、こうした“実家じまい”の課題に対し、訳あり物件の買取・活用といった「物理的な整理」だけでなく、相続や共有名義に関する相談、家族間での意思整理といった「精神的な負担」まで含めて支援する「ワンストップ実家じまい」サービスを展開しています。

株式会社ネクスウィルについて

当社では、一般的な不動産と比べて売却が難しいとされる空き家や訳あり不動産を買い取り、権利関係を整理するなどの手を加えて取扱や売却が困難とされている要因である「訳」を排除して、再販しています。

訳あり不動産は多くの人が事故物件を思い浮かべることが多いですが、実は他にもたくさんあります。

相続によって不動産の所有者が複数存在する共有持分、建築基準法の条件を満たしていない再建築不可物件、登記がなされずに相続が繰り返されてしまい最終的には所有者がわからなくなってしまった不動産などが例に挙げられます。

当社は、このような不動産を買い取り、権利関係の整理などを行い売却可能な状態にする訳あり不動産買取事業「ワケガイ」を展開しています。

また、深刻化する空き家問題の解決に向けて、自治体やスポーツチームとの官民連携にも積極的に取り組んでいます。複数の自治体と連携協定を締結し空き家課題の解決を支援するほか、スポーツチームとも連携しながら「地方自治体×スポーツチーム×ネクスウィル」の三者間連携により空き家問題の解決並びに地域の活性化を推進しています。

企業概要

会社名：株式会社ネクスウィル

所在地：〒105-0004 東京都港区新橋 5 丁目 10-5 PMO 新橋Ⅱ 10 階

代表取締役：丸岡 智幸

事業内容：訳あり不動産の買い取り再販事業

HP：<https://www.nexwill.co.jp/>



「ワケガイ」

空き家・訳あり不動産の『買取』事業

管理や所有に困っている空き家や、再建築不可の物件、共有名義の不動産などを買い取り、法的知識や専門知識を活かして再び市場に流通させる「空き家・訳アリ不動産の買い取り事業」

URL：<https://wakegai.jp/>



「空き家の URI・KAI」

全国の訳あり不動産や空き家の「売りたい人」と「買いたい人」をオンライン上で繋げる C to C プラットフォーム。

URL：<https://uri-kai.com/>



「空き家の URI・KAI for INVESTOR」

空き家投資家向けの会員制サイト。

ネクスウィルで買取した空き家を掲載しており、空き家は賃貸として運用可能。地方自治体との連携の取り組みにより、移住や二地域居住者向けにも展開できる空き家も掲載。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ネクスウィル

広報担当：都築

電話番号：03-6435-7950／080-7040-2920

メールアドレス：tsuzuki@nexwill.co.jp